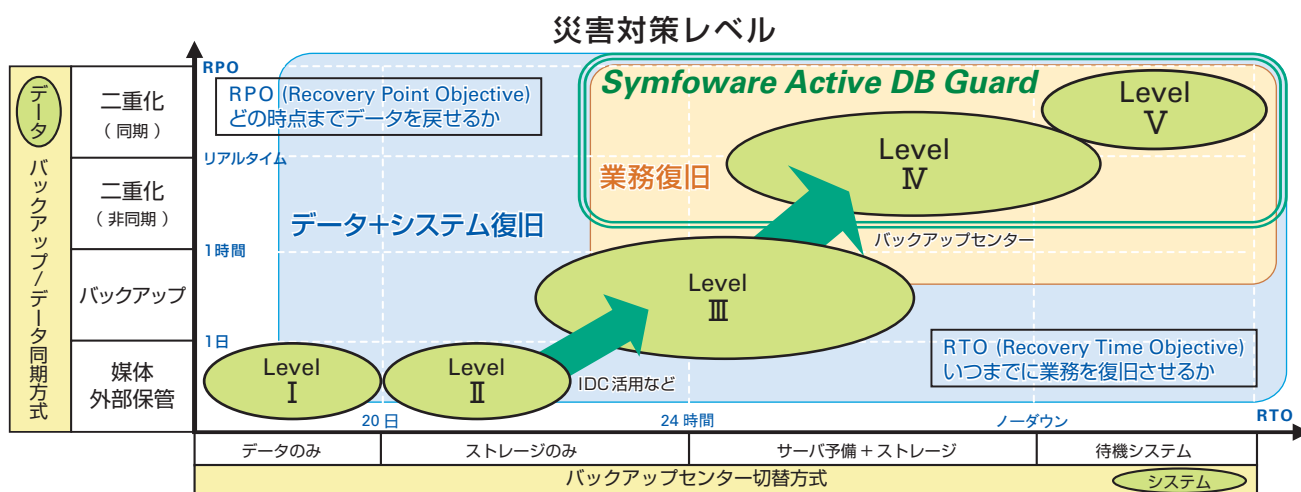


ノーダウン・ロストゼロレベルの災害対策実現データベースソフトウェア

Symfoware Active DB Guard

ストレージシステムと完全連動し、大規模データベースにも対応

運用災害がビジネスに与える脅威と損害は計り知れません。企業活動のインフラストラクチャーとして不可欠な情報システムには、さまざまな不測の事態発生による影響を可能な限り未然に防止し、業務中断の際には早期復旧と事業継続を可能とする事業継続計画（BCP: Business Continuity Plan）の策定が求められています。「Symfoware Active DB Guard」は、オープンシステムで初のデータベースとストレージシステムとの完全連動による大規模・高負荷データベースのリアルタイムな災害対策対応とともに、メインフレームで培った運用技術を継承し、通信データ削減、バックアップセンター活用など、TCO削減も実現します。



こんな課題ありませんか？

高レベルの業務継続性を実現したい

ランニングコストを抑えたい

バックアップセンターを通常業務でも利用したい

Symfoware Active DB Guardで解決!!

独自技術によるノーダウン・ロストゼロレベルのデータベース復旧を実現

独自のセンター連携ログにより通信コストを1/8に削減

計画切替えと静態データベースによるバックアップセンターの有効活用

独自技術によるノーダウン・ロストゼロレベルのデータベース復旧を実現

独自のログ SHIPPING 技術により、バックアップセンターへ転送するデータ量を削減することで、ネットワークのスループット低下などの影響を抑え、データロストの極小化を実現しています。さらに、メインフレームで培った運用技術を継承し、大量トランザクションの同時発生などの高負荷に対しても、ログ収集を分割して並列処理するログ運用により、スケーラブルなシステム対応を実現しています。

独自のセンター連携ログにより通信コストを1/8に削減

データベースの更新差分ログから必要な情報のみ取得することで、バックアップセンターに送付する更新差分ログのデータ量削減を実現しています。データベースミラーリングと比較して、データ更新量は最大1/8に圧縮できるため、通信コストを削減できます。

計画切替えと静態データベースによるバックアップセンターの有効活用

バックアップや定期的な保守に対しても、センターの計画切替えにより、バックアップセンターを活用して業務を継続できます。また、業務のデータを利用する参照系の業務や静態データベース*を利用したバッチ業務など、業務に合わせてバックアップセンターの活用が可能です。

* 静態データベース：
任意のタイミングで一時的にデータベースを静止状態にする技術

実用性最優先の災害対策ソリューションを支える技術

「Symfoware Active DB Guard」は、ストレージシステムと完全連動し、メインフレームでの長年の稼働実績で培われた運用技術により、最適なコストで最高レベルの業務の継続を実現します。

データロストと通信コストを最小に抑えるログ SHIPPING 技術

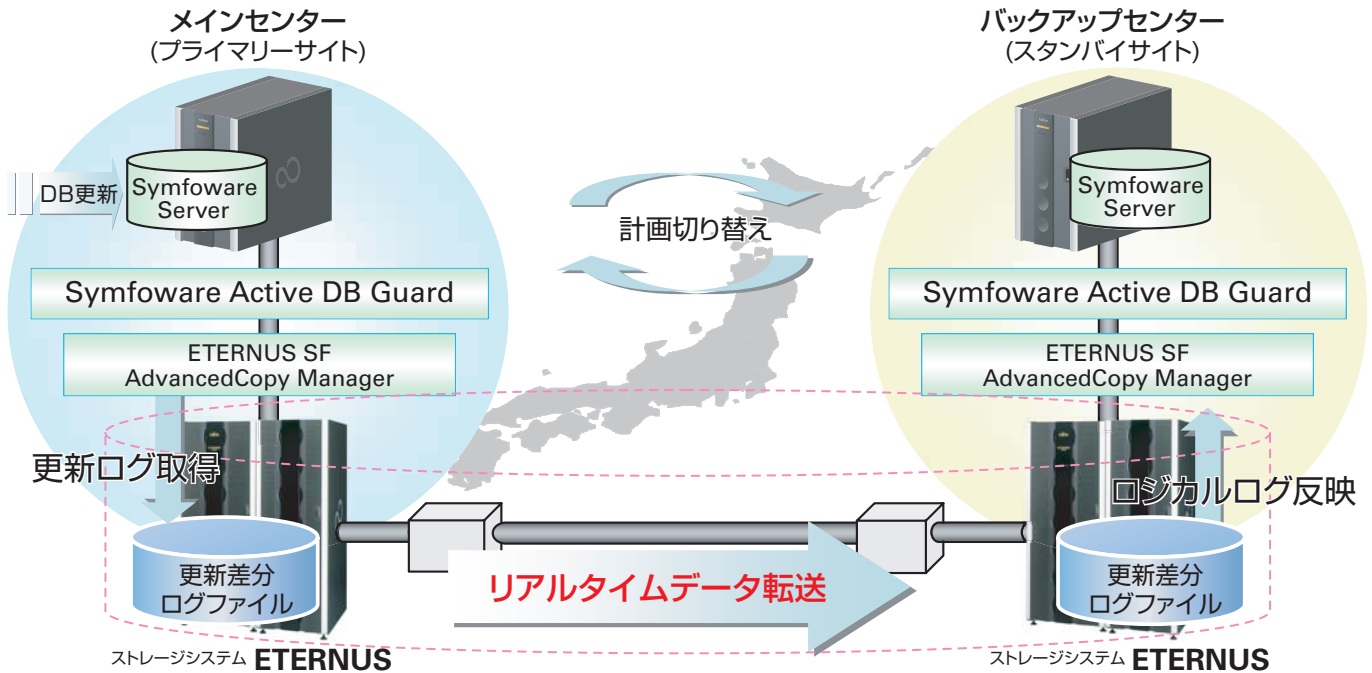
データベースの複製を作成する際に利用する更新差分ログに関する技術です。

スケーラビリティを向上させるログ運用技術

ミッションクリティカルなシステムに必要な、大規模データベースのリカバリーなどを目的とした際の更新時のログ取得に関する技術です。

遠隔地にデータ複製を実現するリモートコピー技術

ストレージシステム間でネットワークを利用してリアルタイムにデータ転送し、ロジカルログ反映でディスク/IOの同期を取る技術です。



【従来技術との比較】

比較項目	Symfoware Active DB Guard	ストレージミラー方式	DBMS 通信連携方式
災害対策レベル	DB復旧：数分以内、データ損失：0～数秒	DB復旧：数分以内、データ損失：0～数秒	DB復旧：数分～数時間、データ損失：数分～数時間
バックアップセンター利用	DB参照、計画切り替え	DB利用できず	DB参照
通信	データ転送量小	データ転送量大	データ転送量小
オンライン業務	影響なし	影響なし	CPU負荷がかかる

■動作環境

製品名	適用機種	サーバ動作OS
Symfoware Active DB Guard	PRIMEQUEST	Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for Itanium)

■必須ソフトウェア

製品名	製品概要
Symfoware Server Enterprise Extended Edition または Symfoware Server Enterprise Edition	安定稼働と省力運用により、高信頼なデータベースを提供します。
ETERNUS SF AdvancedCopy Manager	高速バックアップ/リストア、レプリケーション運用を実現します。

*Red Hatは米国Red Hat Software, Inc.の登録商標です。
 *LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
 *Symfoware, ETERNUS, PRIMEQUESTは富士通株式会社の登録商標です。
 *製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
 *その他、本資料に記載されているシステム名、製品名などには必ずしも商標表示(TM-R)を付記していません。



インターネットで製品情報がご覧になれます。

<http://software.fujitsu.com/jp/symfoware/>

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン **0120-933-200**
 受付時間 9:00～17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター